74297429742974297429

目才 2023年3月発行

沼津市文化財センター通信パリ





42974297429742972

松城家住宅の吉凶 - 建物や部屋の配置には意味がある? -

第 10 号でも紹介した重要文化財松城家住宅は、今から約 150 年前に建てられた古い建物であることから、平成 28 年度から 6 年余りをかけて修理工事が行われました。また修理工事にあわせて様々な調査が行われ、なかでも松城家住宅の設計図の調査から、建築にあたっては「家相」という考えによって設計されているこ

とがわかりました。



建物を建てる方角や家の間取りを組み合わせて家をより縁^え起よくしようとする考え方です。

実際の松城家住宅の様子



①最大吉の文庫蔵



②鬼門(北東側)の様子



③鬼門をにらむ鬼の彫刻



④主人の部屋(8畳間)



⑤オザシキ (9畳間)



⑥本玄関(8畳間)



『豆州戸田松城氏吉相之家図』(重要文化財)

例えば建物の配置については「大事な建物は北西に配置するのが吉」なため、松城家の蔵の中でも一番大切な文庫蔵は、「最大吉」となるように敷地の北西に建てられています。一方、縁起が悪い鬼門(凶)とされる北東には何も建物を建てないようにしています。また鬼門から悪い「気」が入ってこないように、南東側にある蔵の屋根につけられた鬼の彫刻が鬼門をにらんでいます。

一方、建物内部については、<mark>良運を呼びこめるよう</mark>南側に大きく開くことができる本玄関が造られました。また偶数の畳の部屋が並ぶのは「凶」であることから、主人の部屋と本玄関の間のオザシキはあえて 9 畳という奇数の部屋にしてあります。

このように松城家住宅は、家相のことをよく考えて設 計されていたことがわかる建物となっています。

!419!419!419!419

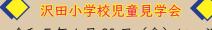
高尾山古墳 現地見学会開催

高尾山古墳は、東熊堂に造られた東日 本最古級かつ当時においては最大級(全 長約62 m)の前方後方墳です。









令和5年1月20日(金)に、沢田小学校の6年生が高尾山古墳を見学しました。職員の解説を聞いた うえで、普段は立ち入る事のできない古墳にのぼり、古墳の大きさを体感したり、各自の Chrome Book を 使用して気になる場所の写真を撮るなど、現地ならではの体験をしました。



解説を真剣に聞く児童たち



古墳内も散策



各自で気になるところを写真撮影



◇ 一般向け見学会 ◆ ◇



地元自治会の方と一般向けの見学会 を行いました。市内だけでなく、全国 各地からも計 200 名を超える方が参加 され、古墳に対する関心の高さがうか がえました。



古墳の上で解説



周辺整備の模型を見る見学者





令和5年1月21日(土)に天 然記念物大瀬崎のビャクシン樹林 にて防火訓練を行いました。文化 財を火災等から守ることを目的と して毎年1月に実施しています。



沼津市文化財センター

展示室見学 平日 9 時 00 分から 16 時 30 分

〒410-0106 静岡県沼津市志下 530

TEL 0 5 5 - 9 3 5 - 5 0 1 0 / FAX 0 5 5 - 9 3 3 - 1 2 7 0

(土・日曜日、祝日、年末年始はお休み)

沼津市教育委員会文化振興課 文化財企画係・文化財調査係

E-mail cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

